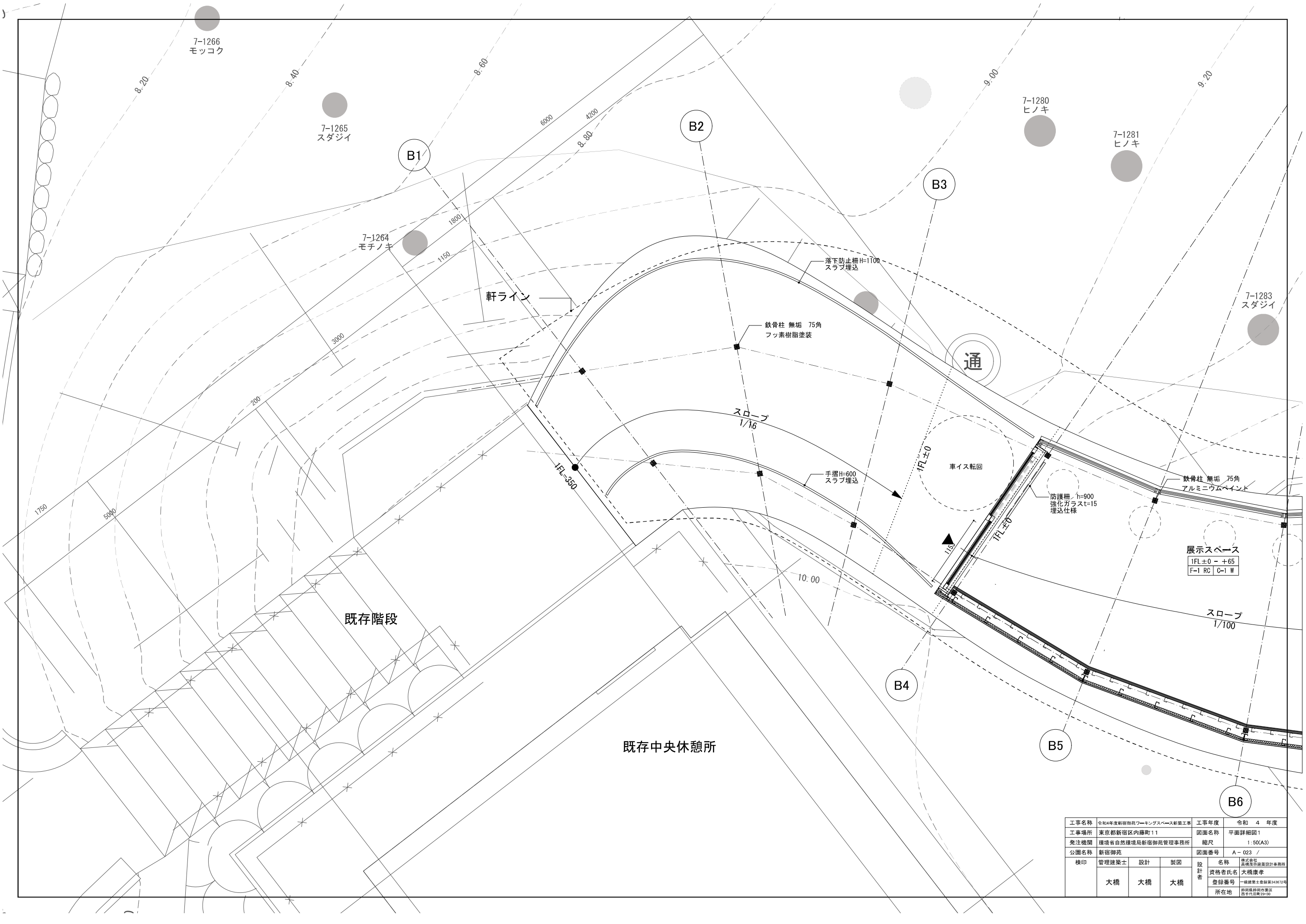
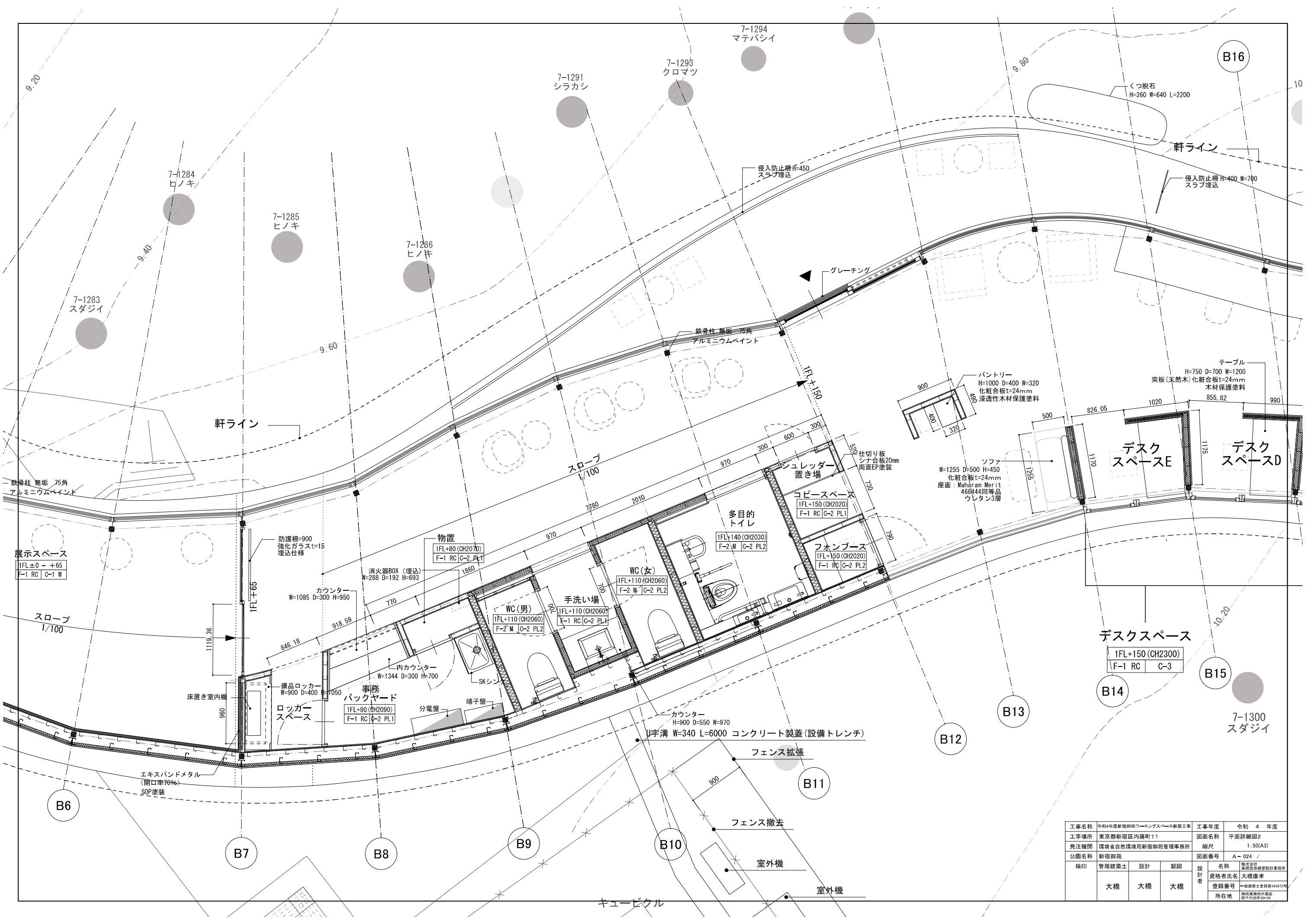
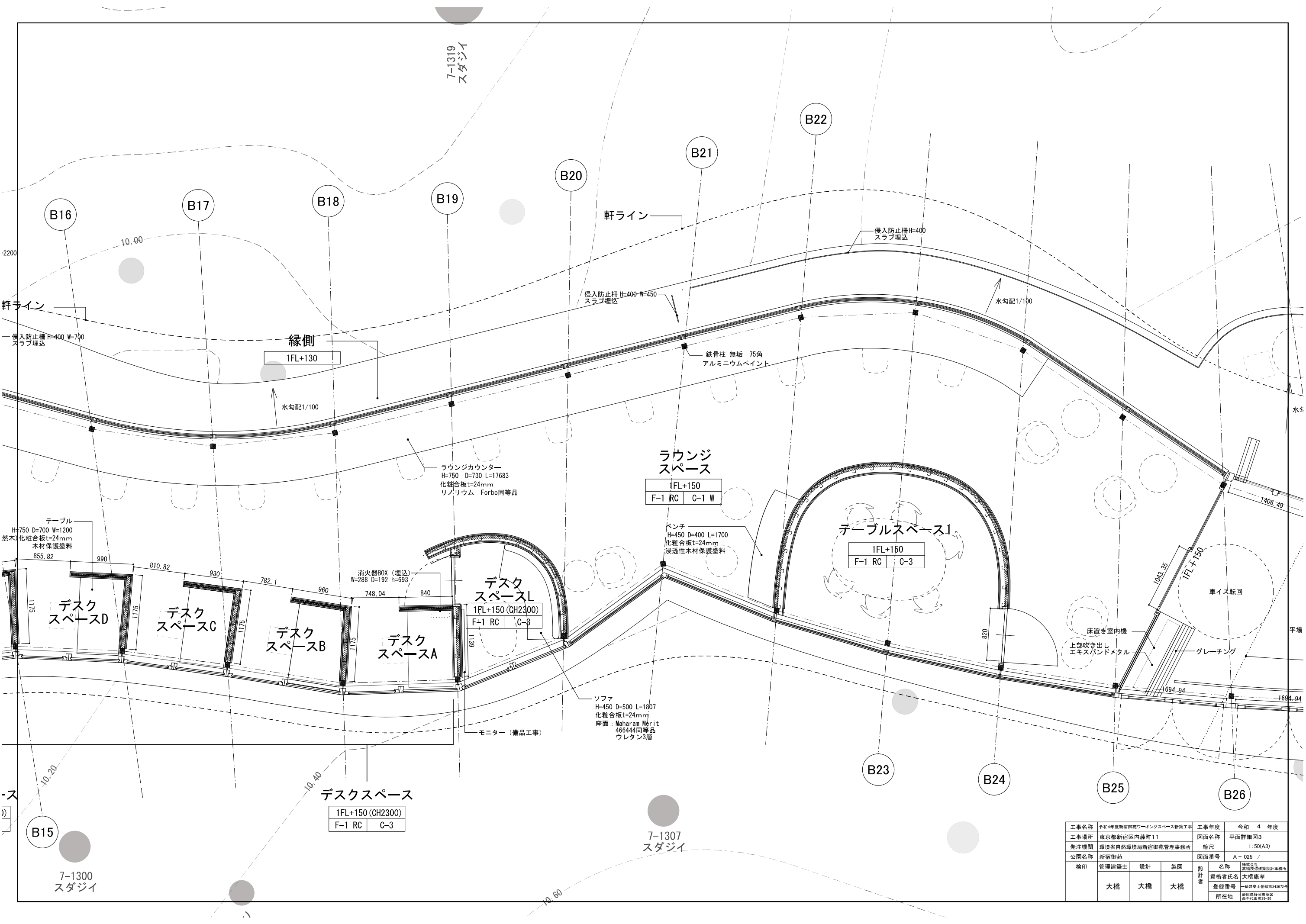


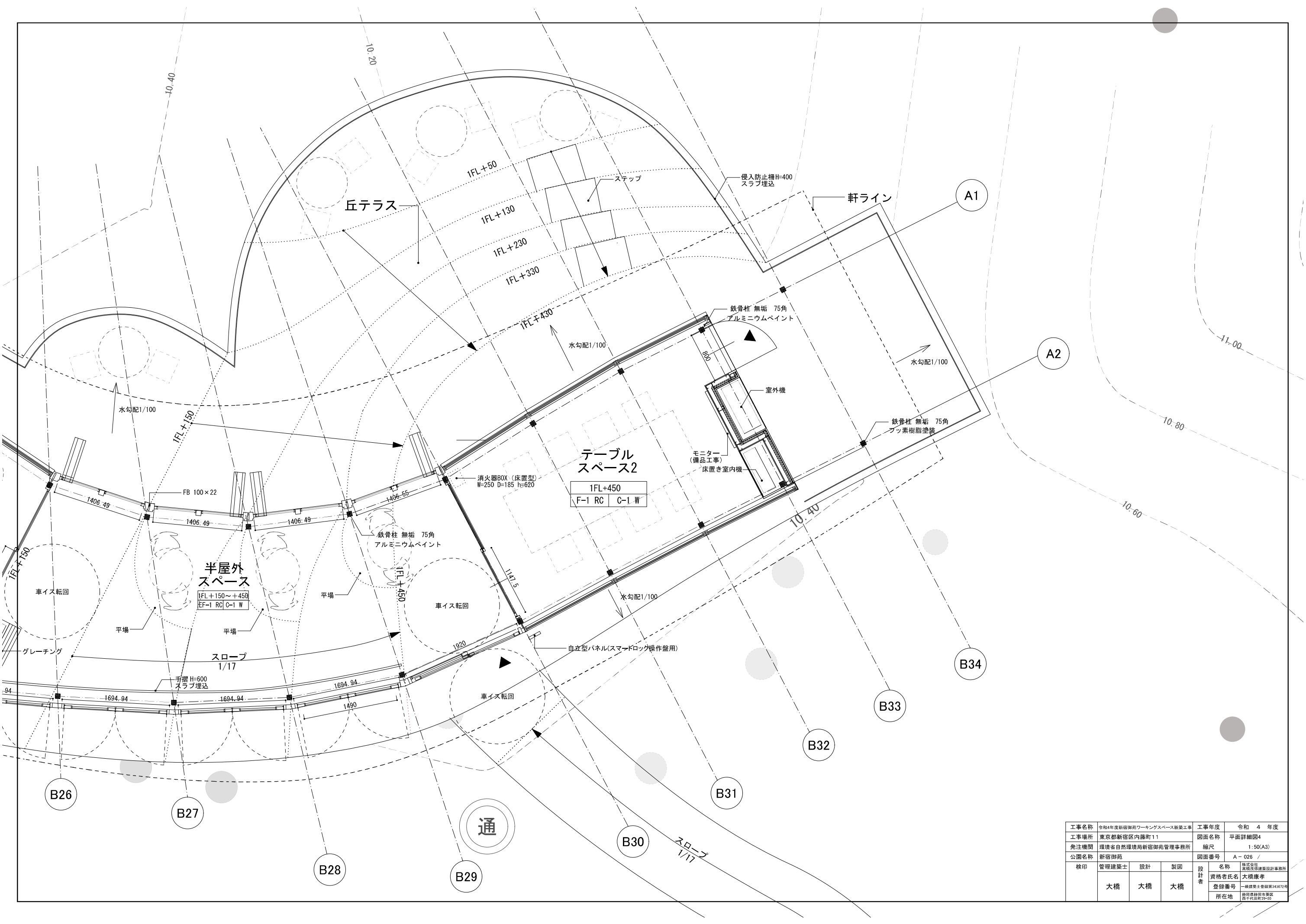


工事名称	令和4年度新宿御苑ワーキングスペース新築工事			工事年度	令和 4 年度	
工事場所	東京都新宿区内藤町11			図面名称	平面詳細図1	
発注機関	環境省自然環境局新宿御苑管理事務所			縮尺	1:50(A3)	
公園名称	新宿御苑			図面番号	A-023 /	
検印	管理建築士	設計	製図	設計者	名称	株式会社 環境設計建築設計事務所
	大橋	大橋	大橋		資格者氏名	大橋康孝
					登録番号	一級建築士登録第343672号
					所在地	新宿区新宿区 西千代田町29-30

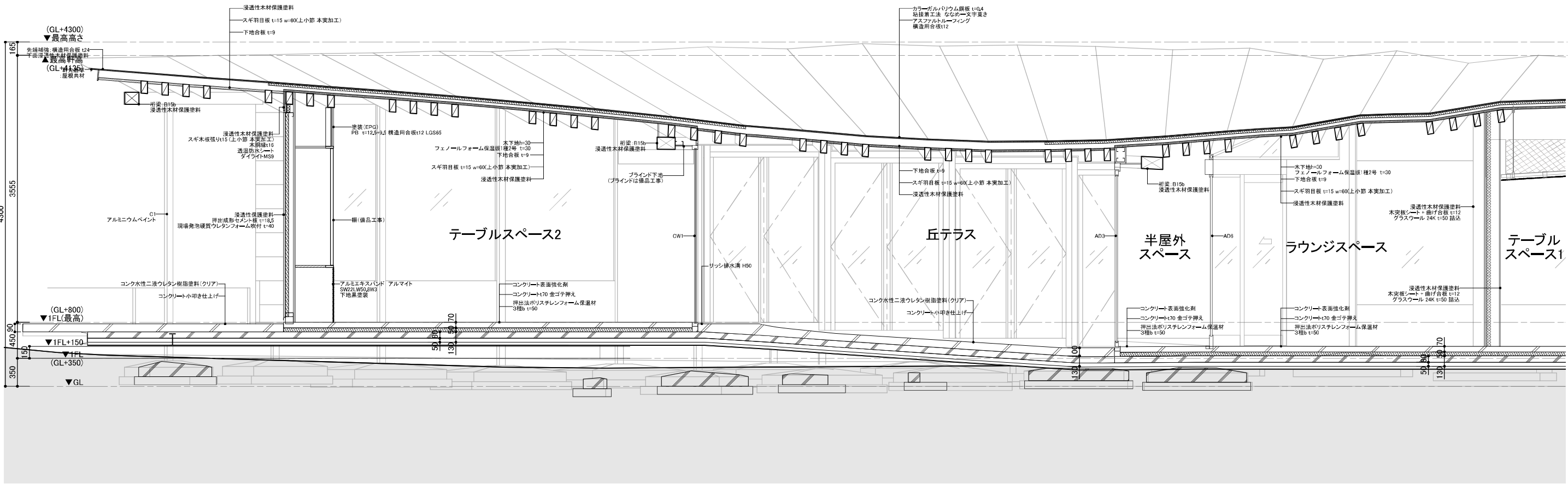


工事名称	令和4年度新宿御苑ワーキングスペース新設工事			工事年度	令和 4 年度	
工事場所	東京都新宿区内藤町11			図面名称	平面詳細図2	
発注機関	環境省自然環境局新宿御苑管理事務所			縮尺	1:50(A3)	
公園名称	新宿御苑			図面番号	A-024 /	
検印	管理建築士	設計	製図	設計者	名称	株式会社 東横建設設計事務所
	大橋	大橋	大橋		資格者氏名	大橋康孝
					登録番号	一級建築士登録第343672号
					所在地	静岡県静岡市南区 西千代町9-30

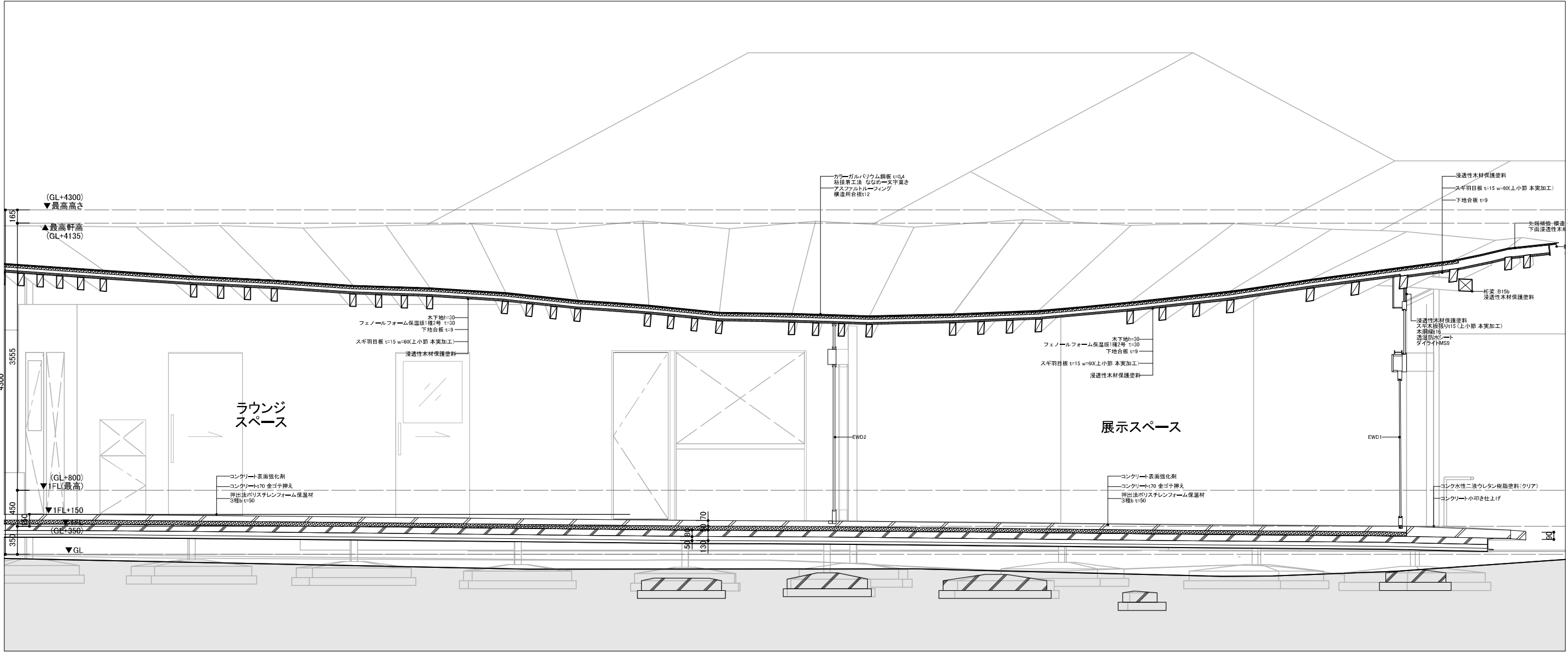




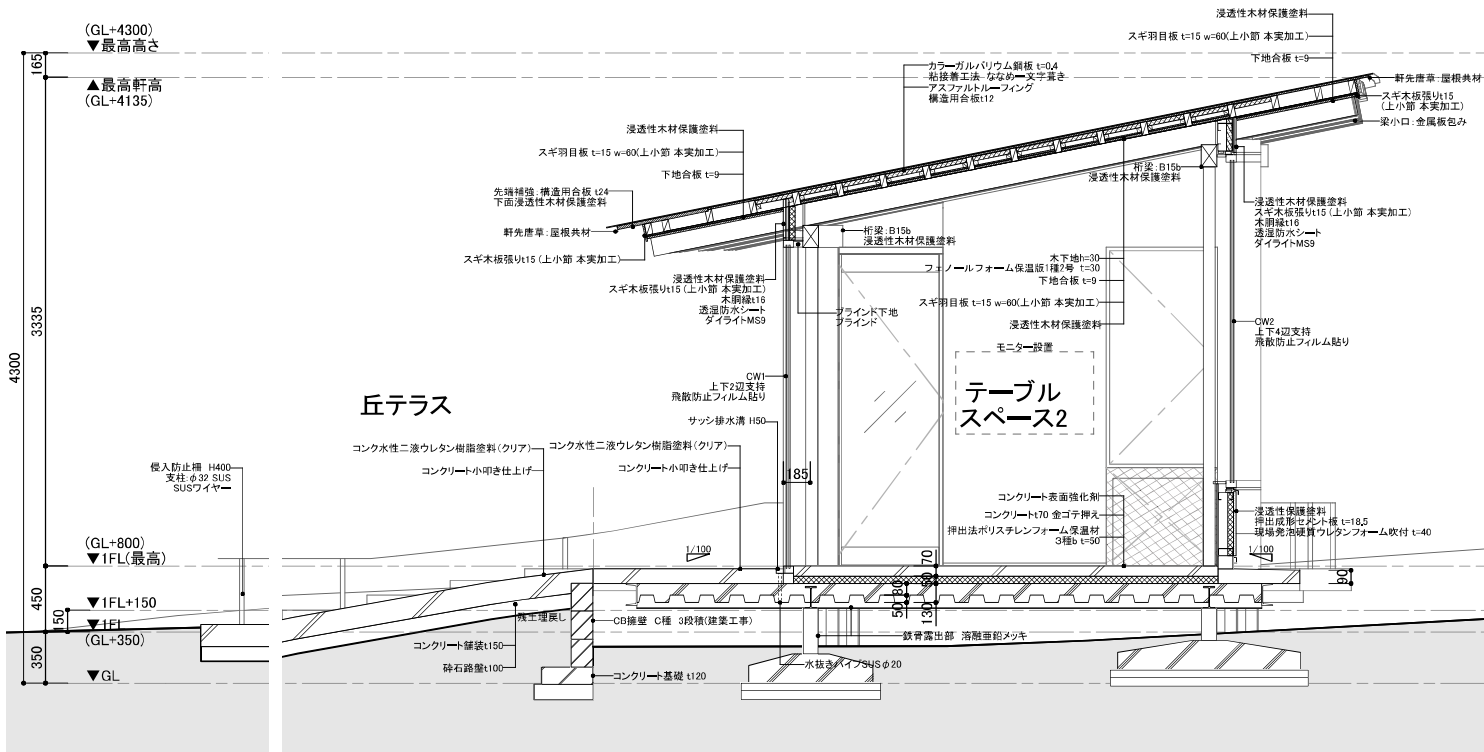
工事名称	令和4年度新宿御苑ワーキングスペース新築工事			工事年度	令和 4 年度	
工事場所	東京都新宿区内藤町11			図面名称	平面詳細図4	
発注機関	環境省自然環境局新宿御苑管理事務所			縮尺	1:50(A3)	
公園名称	新宿御苑			図面番号	A-026 /	
検印	管理建築士	設計	製図	設計者	名称	株式会社 高橋茂樹建築設計事務所
	大橋	大橋	大橋		資格者氏名	大橋康孝
					登録番号	一級建築士登録第343672号
					所在地	静岡県静岡市葵区 西千代田町29-30



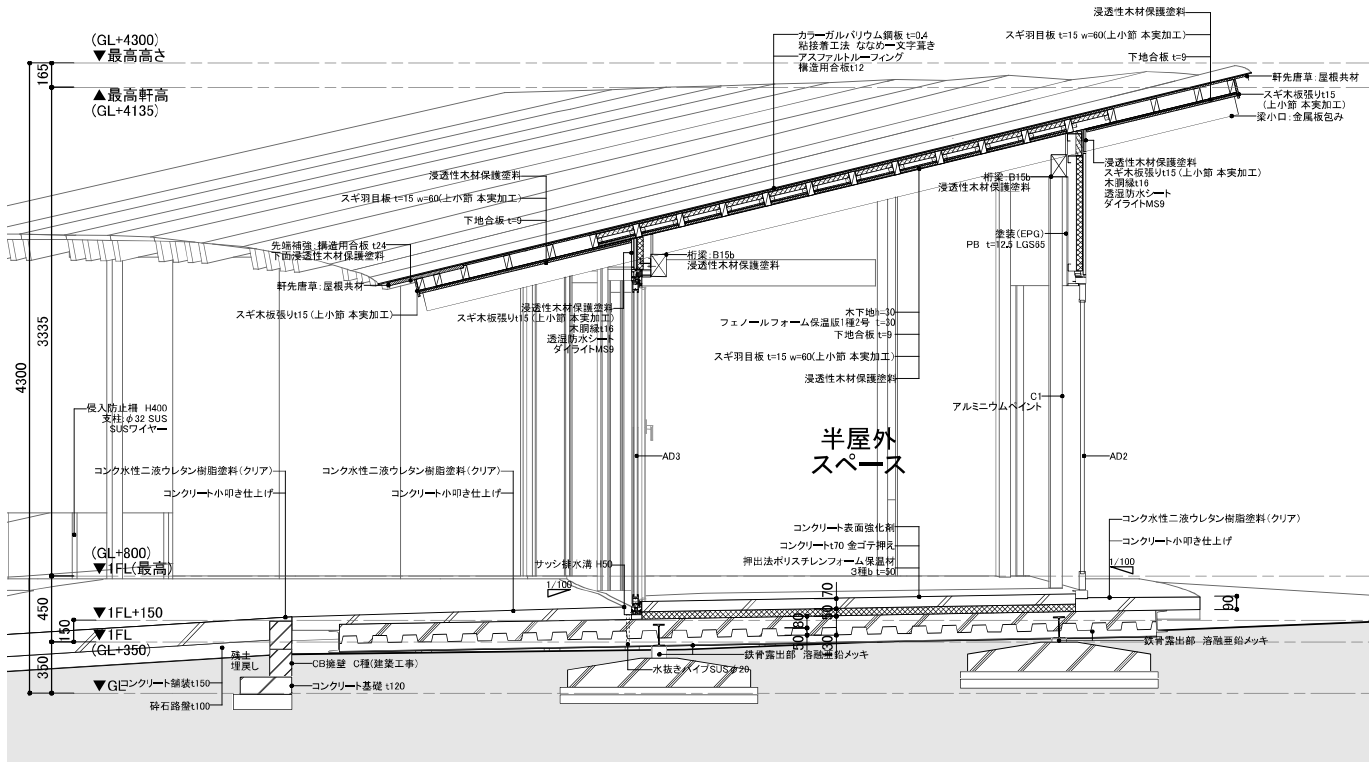
工事名称	令和4年度新宿御苑ワーキングスペース新築工事			工事年度	令和 4 年度	
工事場所	東京都新宿区内藤町1-1			図面名称	断面詳細図1(長辺1)	
発注機関	環境省自然環境局新宿御苑管理事務所			縮尺	1:50 (A3)	
公園名称	新宿御苑			図面番号	A-027 /	
検印	管理建築士	設計	製図	設計者	名称	株式会社 高橋秀樹建築設計事務所
	大橋	大橋	大橋		資格者氏名	大橋康孝
					登録番号	一級建築士登録第343872号
					所在地	静岡県静岡市東区 西千代田町28-30



工事名称	令和4年度新宿御苑ワーキングスペース新築工事			工事年度	令和 4 年度	
工事場所	東京都新宿区内藤町1-1			図面名称	断面詳細図3(長辺3)	
発注機関	環境省自然環境局新宿御苑管理事務所			縮尺	1:50 (A3)	
公園名称	新宿御苑			図面番号	A-029 /	
検印	管理建築士	設計	製図	設計者	名称	株式会社 森下建設設計事務所
	大橋	大橋	大橋		資格者氏名	大橋康孝
					登録番号	一級建築士登録第343872号
					所在地	静岡県静岡市東区 西千代田町28-30

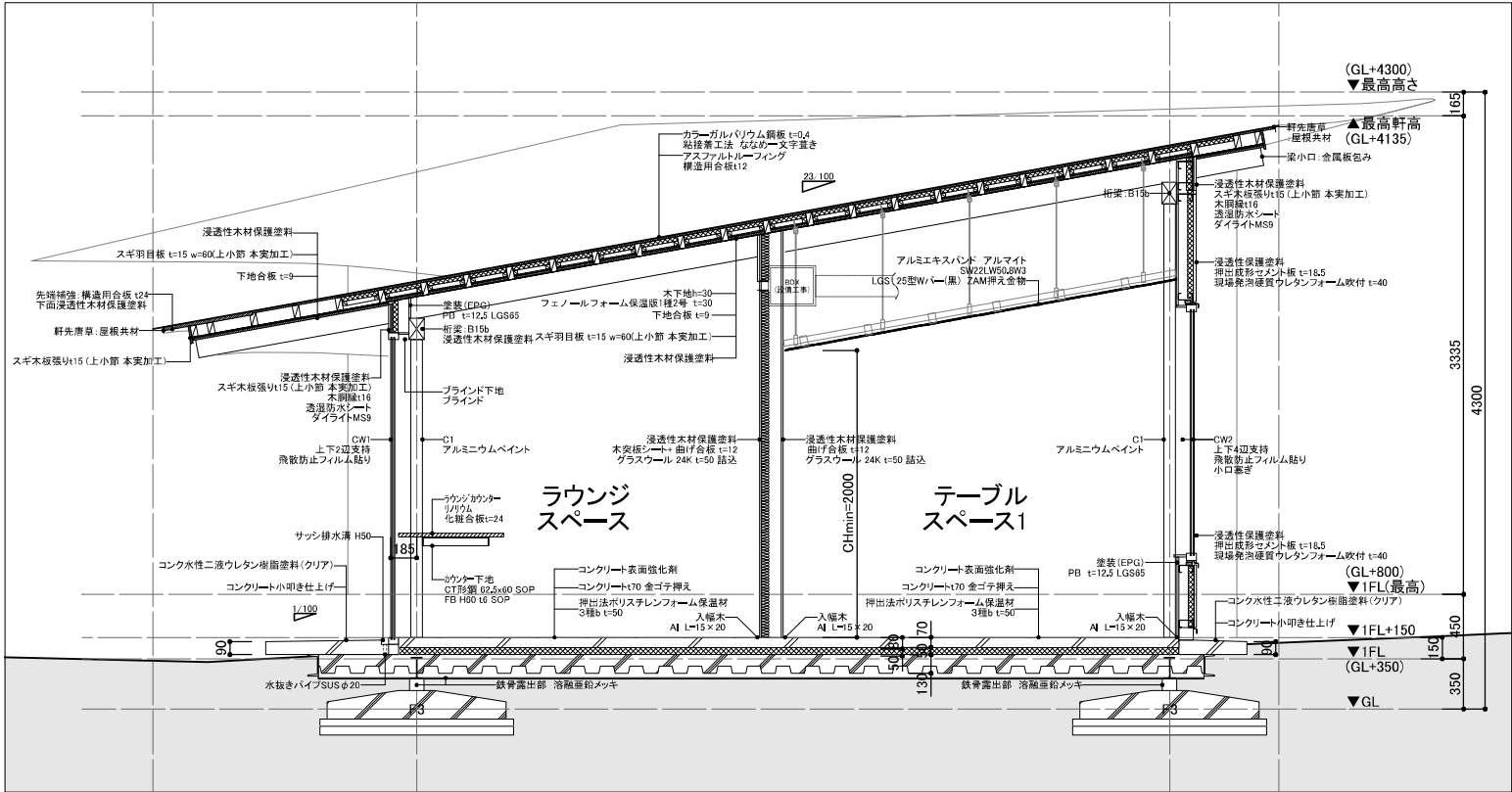


BB 断面詳細図

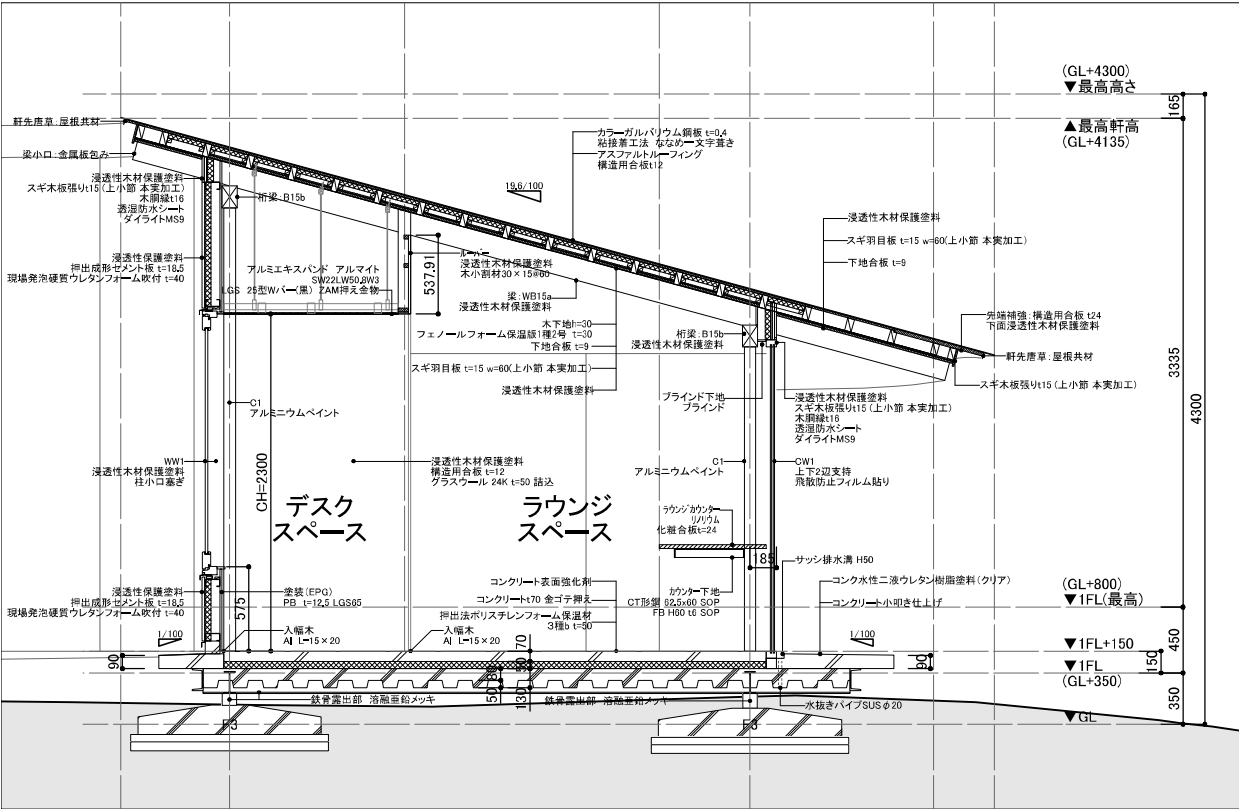


CC 断面詳細図

工事名称	令和4年度新宿御苑ワーキングスペース新築工事			工事年度	令和 4 年度	
工事場所	東京都新宿区内藤町11			図面名称	断面詳細図4(B, C)	
発注機関	環境省自然環境局新宿御苑管理事務所			縮尺	1:50 (A3)	
公図名称	新宿御苑			図面番号	A-030 /	
検印	管理建築士	設計	製図	設計者	名称	株式会社 高橋建設建築設計事務所
	大橋	大橋	大橋		資格者氏名	大橋康孝
					登録番号	一級建築士登録第343872号
					所在地	静岡県静岡市東区 西千代田町28-30

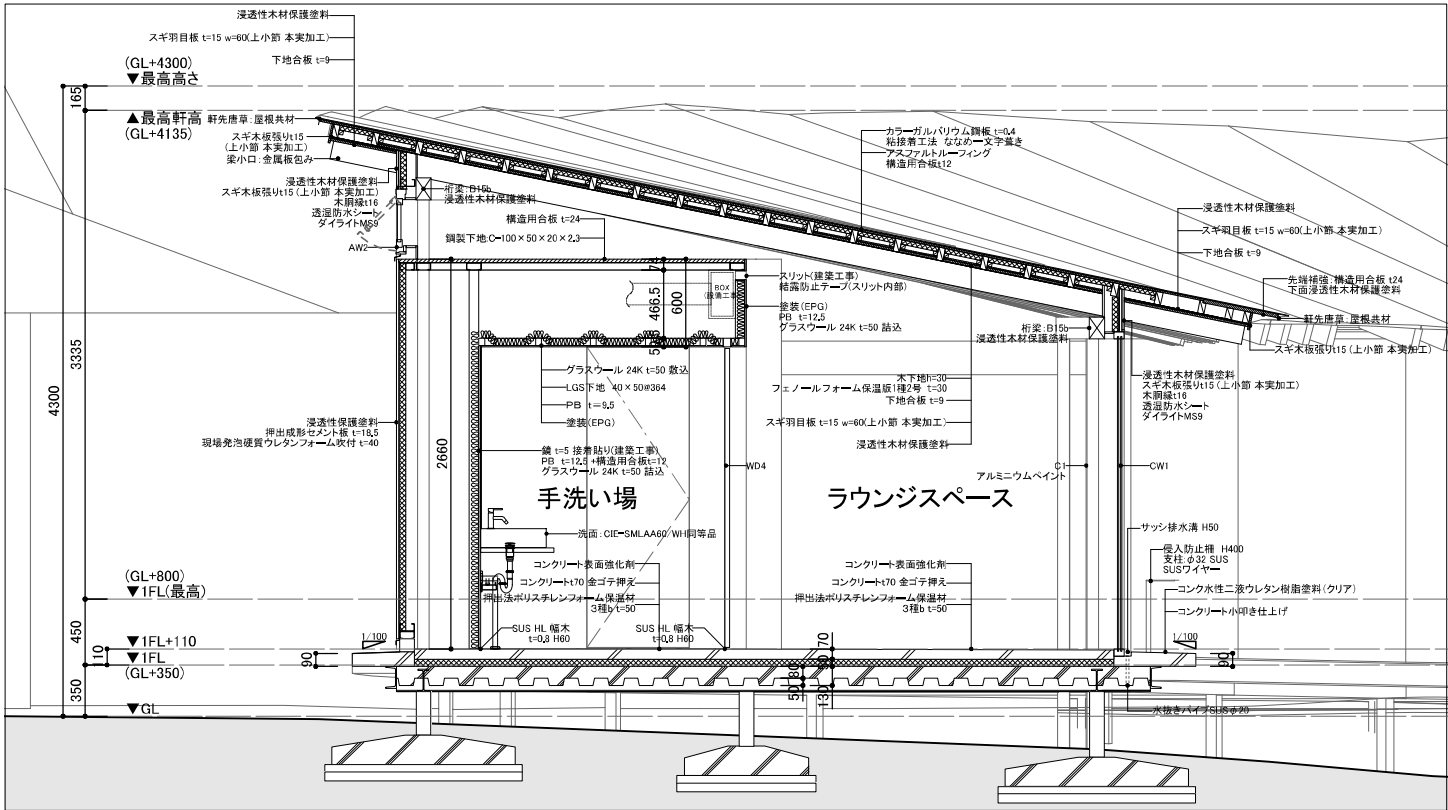


DD 断面詳細図

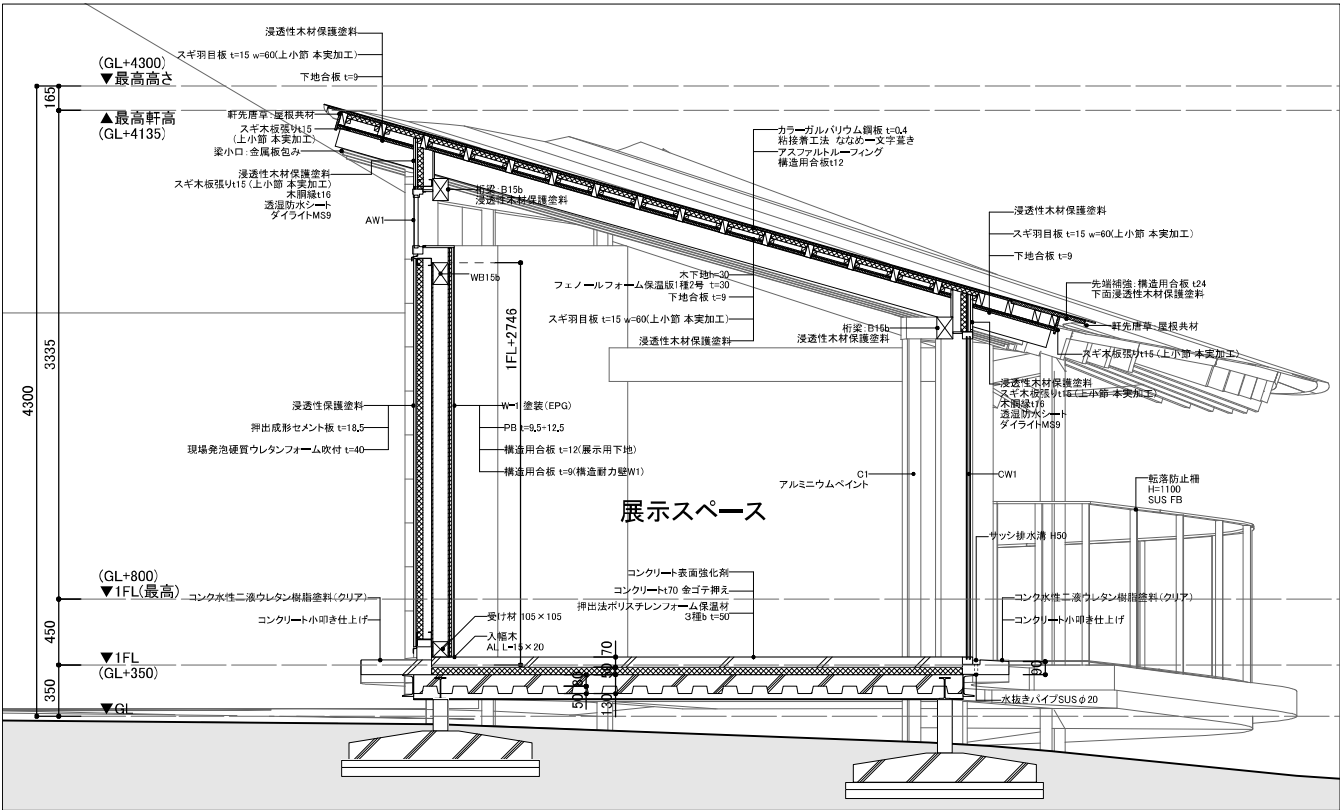


EE 断面詳細図

工事名称	令和4年度新宿御苑ワーキングスペース新築工事			工事年度	令和 4 年度	
工事場所	東京都新宿区内藤町1-1			図面名称	断面詳細図5(D, E)	
発注機関	環境省自然環境局新宿御苑管理事務所			縮尺	1:50 (A3)	
公図名称	新宿御苑			図面番号	A-031 /	
検印	管理建築士	設計	製図	設計者	名称	株式会社 森田建設設計事務所
					資格者氏名	大橋康孝
					登録番号	一級建築士登録第343872号
	大橋	大橋	大橋		所在地	静岡県静岡市駿河区 西千代田町29-30



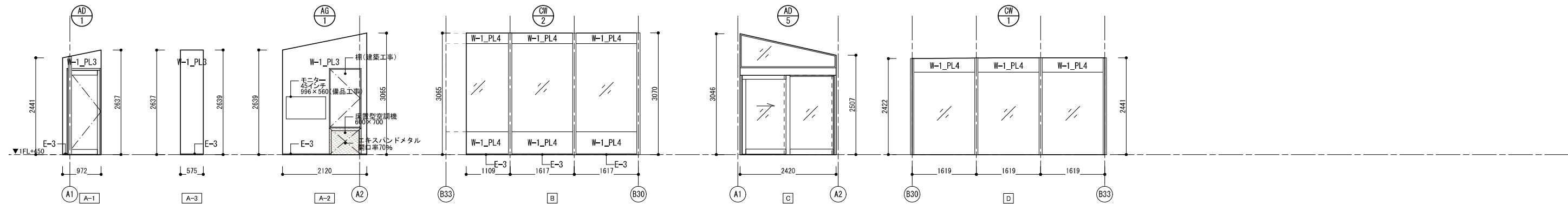
FF 断面詳細図



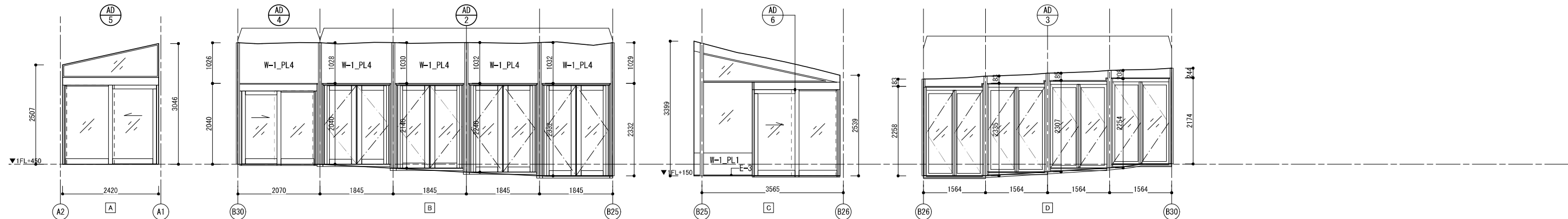
GG 断面詳細図

工事名称	令和4年度新宿御苑ワーキングスペース新築工事			工事年度	令和 4 年度	
工事場所	東京都新宿区内藤町1-1			図面名称	断面詳細図6(F, G)	
発注機関	環境省自然環境局新宿御苑管理事務所			縮尺	1:50 (A3)	
公図名称	新宿御苑			図面番号	A-032 /	
検印	管理建築士	設計	製図	設計者	名称	株式会社 森下建設設計事務所
	大橋	大橋	大橋		資格者氏名	大橋康孝
					登録番号	一級建築士登録第343877号
					所在地	静岡県静岡市東区 西千代田町29-30

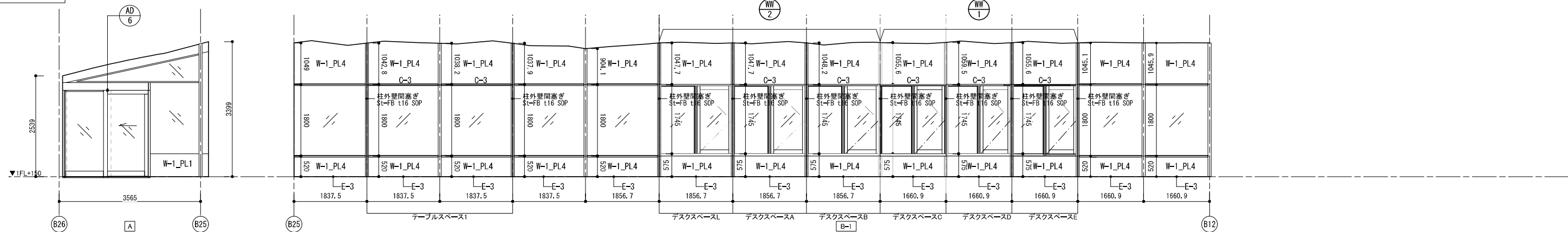
テーブルスペース2



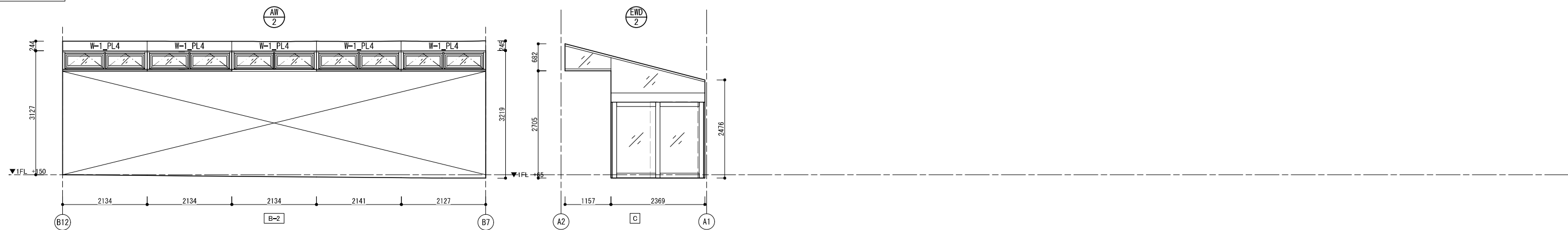
半屋外スペース



ラウンジスペース

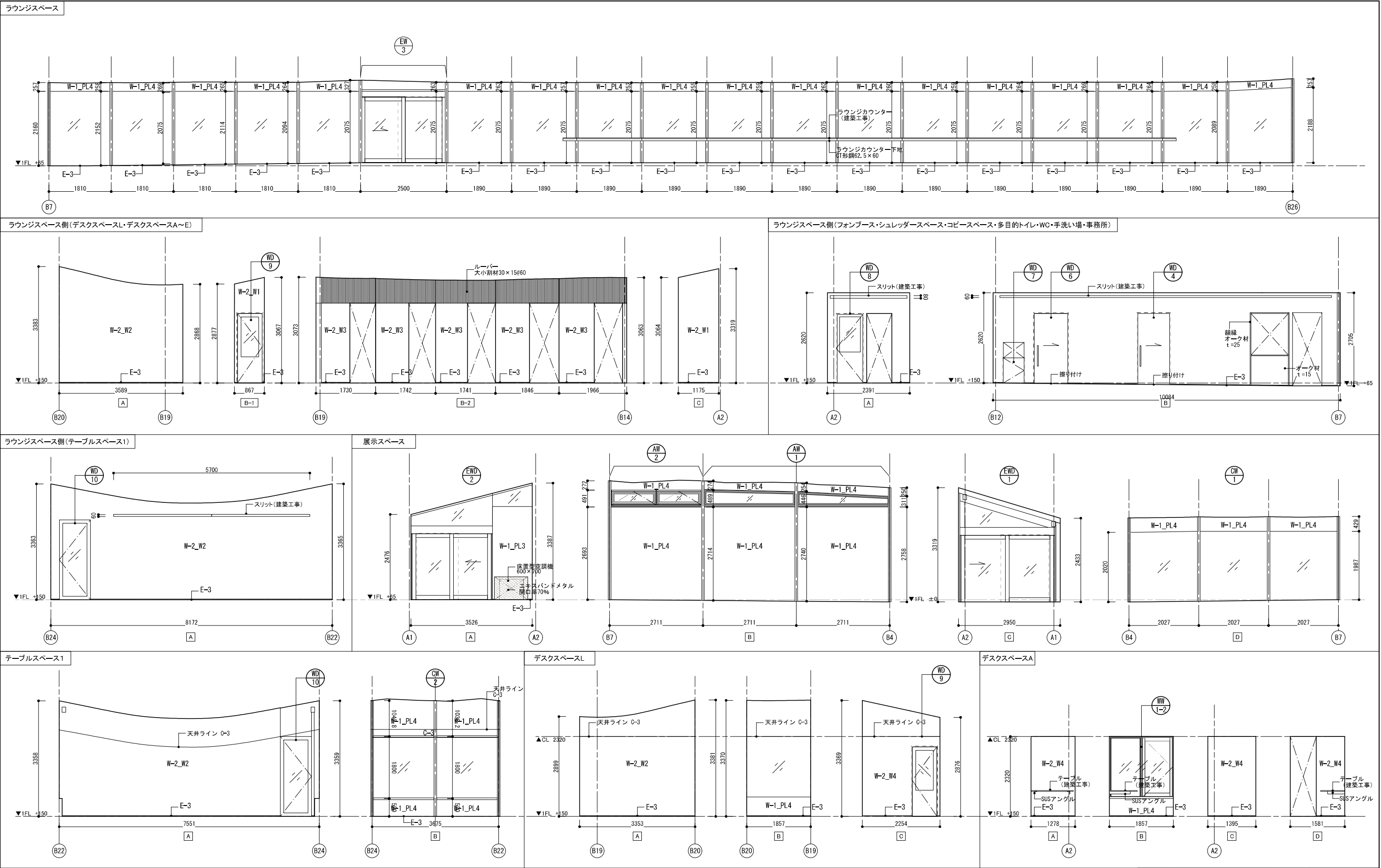


ラウンジスペース



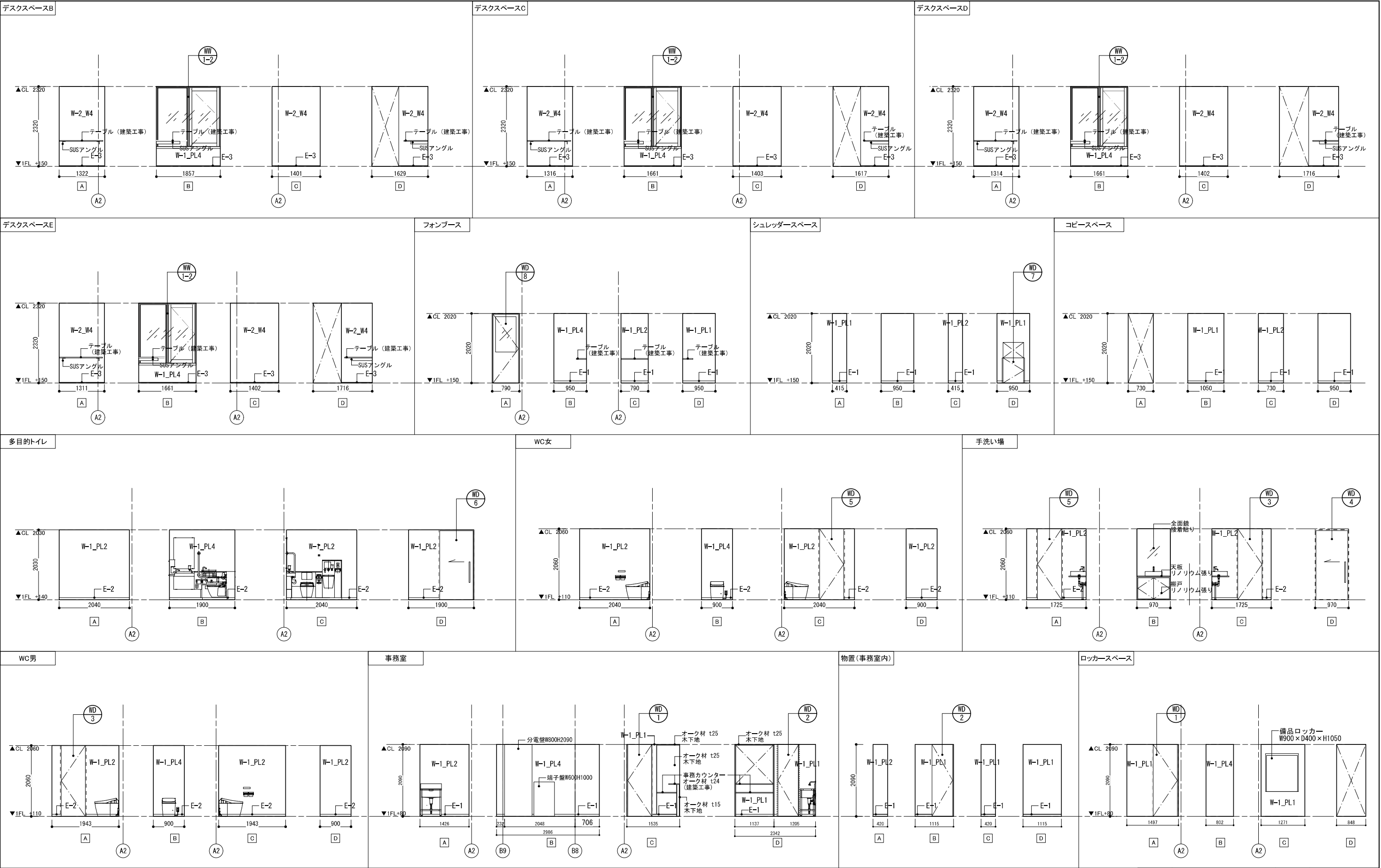
※各平面上側を面aとし、
右回りに展開する

工事名称	令和4年度新宿御苑ワーキングスペース新築工事	工事年度	令和 4 年度
工事場所	東京都新宿区内藤町1-1	図面名称	展開図1
発注機関	環境省自然環境局新宿御苑管理事務所	縮尺	1:100 (A3)
公園名称	新宿御苑	図面番号	A-033 /
検印	管理建築士	設計	製図
	大橋	大橋	大橋
	設計者		
	名称	株式会社 高橋建設設計事務所	
	資格者氏名	大橋康孝	
	登録番号	一級建築士登録第343872号	
	所在地	静岡県静岡市東区 西千代田町29-30	



※各平面上側を面aとし、
右回りに展開する

工事名称	令和4年度新宿御苑ワークスペース新築工事	工事年度	令和 4 年度
工事場所	東京都新宿区内藤町1-1	図面名称	展開図2
発注機関	環境省自然環境局新宿御苑管理事務所	縮尺	1:100 (A3)
公園名称	新宿御苑	図面番号	A-034 /
検印	管理建築士	設計	製図
	大橋	大橋	大橋
設計者	名称	株式会社 高橋秀司建築設計事務所	
	資格者氏名	大橋 康孝	
	登録番号	一級建築士登録第343672号	
	所在地	静岡県静岡市東区 藤千代田町29-30	



※各平面上側を面aとし、
右回りに展開する

工事名称	令和4年度新宿御苑ワーキングスペース新築工事			工事年度	令和 4 年度
工事場所	東京都新宿区内藤町1-1			図面名称	展開図3
発注機関	環境省自然環境局新宿御苑管理事務所			縮尺	1:100 (A3)
公園名称	新宿御苑			図面番号	A-035 /
検印	管理建築士	設計	製図	設計者	名称 株式会社 高橋建設建築設計事務所
	大橋	大橋	大橋		資格者氏名 大橋康孝
					登録番号 一級建築士登録第343872号
					所在地 静岡県静岡市東区 若千代田町29-30

建具工事共通事項

1.一般共通

- 建具工事に該当する範囲は、キーパンに明示するものとし、カーテンール、ガラススクリーン、造付家具類の建具を除く。
- 建具は製作に先立ち建具製作図を作成し、監督員の承認を受ける。
- 材料、製品、建具金物などには必要に応じて見本を提出し、監督員の承諾を受ける。
- 各建具の鍵本数は原則として各組3本とする。
- キーパシについては、キーパンを提出し、監督員の承諾を受ける。
- 鍵箱の有無… ●有 ○無
- 自動扉の種別は下記いずれかによる。
 - 超音波スイッチ ○電波スイッチ ●赤外線スイッチ ●複合式スイッチ
 - 光電スイッチ ●磁気カードスイッチ ○無線スイッチ
- 建具枠囲りは、特記なき限り、不定形リソ系「リソ」とする。
- 該当しない事項については、あらかじめ監督員と協議してこれを決める。
- 材料の区分は、発着建築材料等の区分「建築基準法の規制対象外」の材料を使用する。
- 製作者および製作工場は特記による。特記がない場合は監督員と協議する。
- 使用する塗料について、低VOC性及び天然性の材料を基本とし、監督員と協議の上決定する。
- 特記なき限り、各扉の番番の形状は、下表によるものとし、材質はSUS304 HL仕上とする。

床に段差のある場合、またはATの場合	床に段差のない場合、かつATでない場合	
	防火区画	非防火区画

2.木製建具工事

- 特記なき限り、性能項目および等級区分は下表に指定するものとする。また、その試験方法は（ ）内のJIS規格に定めるものとする。

(JIS 1515)									
耐風圧性の区分	N	●S-1	S-2	S-3	S-4	S-5	S-6	S-7	U
最大加圧圧力 (Pa)	—	800	1200	1600	2000	2400	2800	3600	—
※表においてNとは性能を要求しないもの、またUとはJISの規格値を超えるものとする。以下表においても同じ。									
気密性の区分	N	A-1	●A-2	A-3	A-4				
気密性等級線	—	A-1等級線	A-2等級線	A-3等級線	A-4等級線				
※気密性等級線について、通気量が JIS A 1516に規定する気密性等級線を上回らないこと。									
(JIS 1517)									
水密性の区分	N	W-1	W-2	●W-3	●W-4	W-5	U		
圧力差 (Pa)	—	100	150	250	350	500	—		

(JIS 1520)							
遮音性の区分	N	●T-1	●T-2	T-3	T-4	U	
遮音等級線	—	T-1等級線	T-2等級線	T-3等級線	T-4等級線	—	
(JIS 4710)							
断熱性の区分	N	●H-1	H-2	●H-3	H-4	H-5	U
熱貫流抵抗値(m ² ・K/W)	—	0.215	0.246	0.287	0.344	0.430	—
(JIS 1521)							
面内変形追随性の区分	N	D-1		●D-2	D-3		U
JISによる等級	—	D-1		D-2	D-3		—
(JIS 1518)							
耐衝撃性の区分	N	●170mm			U		
JISによる等級	—	170mm			—		
※170mmの耐衝撃性とは、30kgの砂袋を高さ170mmから落下させた場合、1回の衝撃で有害な変形がなく、開閉に以上がなく、使用上支障ないこと。							
(JIS 1516)							
開閉力の区分	N	●50N			U		
JISによる等級	—	50N			—		
※50Nの開閉力とは、50N以下の開閉力により戸が円滑に開閉すること。							

- 建具のかまち・棧・鏡板などに使用する木材の樹種および品質は下記による。
 - ・木材の樹種、屋外仕様はスプルース、ペイマツ、屋内使用はスプルース、シナ、ナラ材とする。
 - ・木材の品質は、製材の日本農林規格による。
 - (針葉樹材…造作用製材の規格、広葉樹材…広葉樹製材の規格)
 - ・木材の品質は使用区分により、右表を標準とする。
- 木材は心去り材とし、含水率は15%以下を標準とする。
- 開き建具の吊り元かまちは、釘・ねじの保持力の高い樹種とする。
- 召合せの定規線に用いる木材の樹種および品質は、かまち・棧材に準ずる。
- 建具を用いる合板は日本農林規格に定めるものとし、その種類は監督員の指示による。
- 建具に用いる合板の接着の程度について、屋内に使用するものはJAS定義による1類、屋外に使用するものはJAS定義による特類を使用するものとする。
- ほぞ等の接着には耐水性接着剤を用いる。
- 特記なき限り、建具厚さは40mmとする。但し建具高さが1800mm以下の場合は36mmとする。
- 組立て精度は特記による。また、特記なき場合の寸法公差は、外法寸法が1000mm未満の場合は2mm以下、1000mm以上の場合は1000分の2以下とする。

端部形状リスト	ドア W、H寸法押え	枠形状	A-1	A-2	B-1	B-2	C	D	E	F
			A-1G	A-2G	B-1G	B-2G				
※ゴム入りの場合はGを加える										

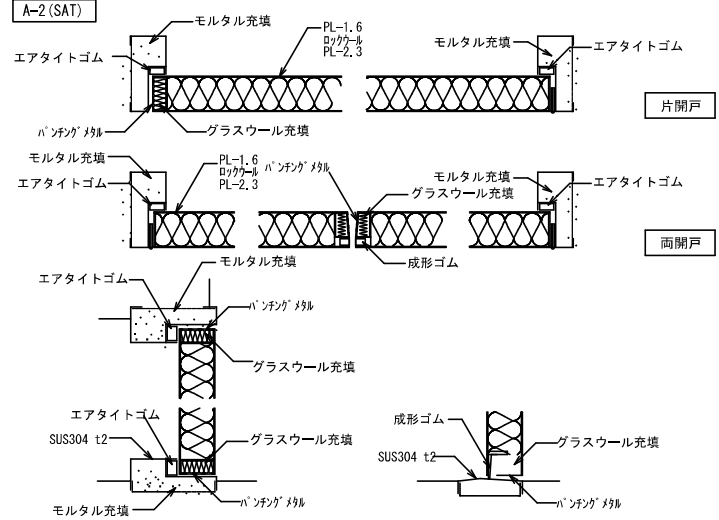
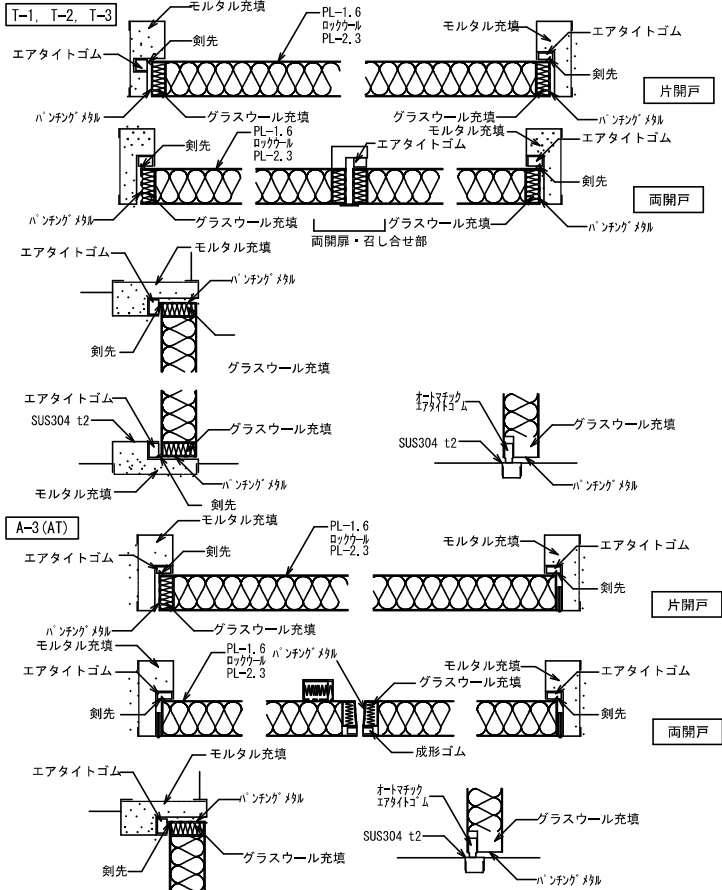
3.鋼製建具工事、鋼製軽量建具工事

- 建具表に特記なき場合、性能は下記による。

耐風圧性の区分	N	●S-1	S-2	S-3	●S-4	S-5	S-6	S-7	U
最大加圧圧力(Pa)	—	800	1200	1600	2000	2400	2800	3600	—
気密性の区分	N	●A-1	●A-2	●A-3	A-4	U			
気密性等級線	—	A-1等級線 (120等級)	A-2等級線 (30等級)	A-3等級線 (8等級)	A-4等級線	—			
図中記号	—	—	SAT	AT	—	—			
※気密性等級線について、通気量が JIS A 1516に規定する気密性等級線を上回らないこと。									
水密性の区分	N	W-1	●W-2	●W-3	●W-4	W-5	U		
圧力差(Pa)	—	100	150	250	350	500	—		
遮音性の区分	N	●T-1	●T-2	●T-3	T-4	U			
遮音等級線	—	T-1等級線 (25DB)	T-2等級線 (30DB)	T-3等級線 (35DB)	T-4等級線 (40DB)	—			
断熱性の区分	N	H-1	●H-2	●H-3	●H-4	H-5	U		
熱貫流抵抗値(m ² ・K/W)	—	0.215	0.246	0.287	0.344	0.430	—		
耐震性の区分	D-1			●D-2			D-3		
面内変形角(rad)	1/300			1/150			1/120		
耐久性	●通常の使用条件において、10万回以上の開閉に耐えるものとする。								

- 特記なき限り、使用鋼板は、溶融亜鉛めっき鋼板および鋼帯(JIS G 3313)とする。
 - 特記なき限り、亜鉛めっき鋼板に対する錆止め塗料は、下表による。
- | さび止め塗料その他 | 塗付け量 (kg/m ²) | 標準膜厚 (μm) | 適用 |
|--------------------------|---------------------------|-----------|-------|
| JASS 18 M-111 水系錆止めペイント | 0.11 | 30 | 屋内 |
| JASS 18 M-109 変性珪酸樹脂7タイプ | 0.14 | 40 | 屋内、屋外 |
| JIS K 5614 鉛・鉛化合物錆止めペイント | 0.12~0.17 | 30 | 屋内、屋外 |
- 外部に面するSDの防錆塗装は、工場錆止め2回塗り+現場にてタッチアップ後に錆止め1回とする。
 - 特記なき限り、鋼製建具の見込寸法は、以下のよう定める。厚厚mm(A面積m²)
 - 40mm(A≤2.5)、45mm(2.5<A≤3.5)、50mm(3.5<A≤5.0)、60mm(A>5.0)
 - 特記なき限り、外部に面する扉は外開きのセミエアタイト(A-2等級線)とし、枠廻りにクロロレンゴム入り、建具内にロックウール入りとし、支持金物はステンレス製T番3枚吊りまたはステンレス製長丁番とする。
 - 外部に面する外壁同面納まりの扉で底のない場合は、上枠にステンレス製水切りプレートをつける。
 - 内部のドア枠にはクロロレンゴムなどの戸当りゴム(2箇所)を取り付ける。
 - 機械室などの通常遮音を必要とする室の防音戸は、厚厚45mm以上、内部ロックウール充填、四方枠クロロレンゴム入り、扉エッジ部SUS-304折り曲げ、グレモン錠3点締まり、遮音等級線T-3以上とする。
 - 防火戸に取り付くフローアヒンジ、ドアークローザ、ヒンジクローザはストッパー無しとする。
 - 防火戸において電気配線、配管、煙感知器、熱感知器などは電気工事とし、電気用の建具切り込み、自動閉鎖装置、リミットスイッチ及びその他取付けは建具工事とする。
 - 親子扉、両開き扉は順位調整器をつけ(上枠埋め込み)、扉にて召し合わせ加工とする。

※ 各タイプの性能に基づく遮音の構造例を下図1〜3に示す。



4.ステンレス製建具工事

- 鋼製建具及び軽量鋼製建具の共通事項に準ずる。
- 特記なき限り、表面仕上げは、HL(ヘアライン)仕上げとする。
- ステンレス鋼材は一般部分はSUS-304とし、塩害等の影響を受ける場合はSUS-316を使用する。
- 特記なき限り、曲げ加工は普通曲げとし、角だし曲げ(裏欠き1mmR、裏板補強つき)は監督員の指示により行う。

5.アルミニウム製建具工事

耐風圧性の区分	N	●S-1	S-2	S-3	●S-4	S-5	S-6	S-7	U
最大加圧圧力(Pa)	—	800	1200	1600	2000	2400	2800	3600	—

※表においてNとは性能を要求しないもの、またUとはJISの規格値を超えるものとする。以下表においても同じ。

(JIS 1516)

気密性の区分	N	A-1	A-2	A-3	●A-4	U
気密性等級線	—	A-1等級線	A-2等級線	A-3等級線	A-4等級線	—

※気密性等級線について、通気量が JIS A 1516に規定する気密性等級線を上回らないこと。

(JIS 1517)

水密性の区分	N	W-1	W-2	W-3	W-4	●W-5	U
圧力差(Pa)	—	100	150	250	350	500	—

(JIS 1520)							
遮音性の区分	N	T-1	●T-2	●T-3	T-4	U	
遮音等級線	—	T-1等級線	T-2等級線	T-3等級線	T-4等級線	—	
(JIS 4710)							
断熱性の区分	N	●H-1	H-2	H-3	H-4	H-5	U
熱貫流抵抗値[m ² ・K/W]	—	0.215	0.246	0.287	0.344	0.430	—

- 特記なき限り、枠材は既製型材を使用する。枠見込みは70mmとする。
- 特記なき限り、水切り(サッシ同材)付とする。
- 開閉窓部分の網戸は、 ●有 ●無し
- 枠材がコンクリート、モルタル等のアルカリ性材料、塩分を含んだ輸入木材及び異種金属と接する面は、接触腐食防止処置を施す。
- 外部廻りの両面サッシ枠形状は、二重シーリング充填が可能なタイプの枠形状を使用する。
- 横連窓等で扇開変位をセッショ又はガラス取りあひ部分で考慮する場合は、カーテンウォール工事およびガラス工事にならう。
- はめ殺し部分には原則として結露受け(材質：スチール)をもうけ、水抜き穴付(5mmφ以上)または拭き取りタイプとする。

6.鋼製シャッター及び耐火スクリーン及びオーバーヘッドドア

- ガイドレール、まぐさ、座板は特記なきかぎりSUS304 HL仕上げ、折り曲げ加工とする。
- 重量シャッターの納まり寸法については、監督員と協議のうえ決定する。
- 外周用シャッターは、建物の立地・用途・設置場所などを勘案して必要とする風圧力に耐えるものとする。
- 特に風当たりの強い箇所を使用されるもの、大形のものおよび特記のあるものは、強度計算によってスラット・ガイドレール、その他の部材の断面寸法・形状、躯体との関係などを確認する。外周用シャッターで特に高度の耐風圧性を必要とする場合及び幅8m以上の場合には、スラットは必ず止め機構を設ける。
- 製作者は、下記の項目について、監督員の指示によって見本品を提示する。
 - (○素地調整 ●防錆塗装 ●仕上げ 〇外観 〇形状 〇寸法精度 〇機構 〇機器 〇付属品)
- 特記なき限り、操作方法是上部電動式シャッターとし、障害物感知装置付とする。
- 特記なき限り、押しボタンケース、ハンドルケースの高さは1200mmとし、材質はステンレスHL仕上げとする。
- シャッターの予備巻上げ方法は下記とする。
 - チェーン式 〇ハンドル式() 〇プルアップ式()
- 防火シャッターの遠隔操作がある場合、下記による。
 - 個別制御(取付場所) 〇地区制御(取付場所) 〇集中制御(取付場所)
- 電気用建具切り込み、電動シャッターの駆動スイッチ、リミットスイッチ、制御盤、遠方操作盤、押ボタン及びその配線はシャッター工事とし、配管・配線及び煙感知器、熱感知器などは電気工事とする。

7.可動間仕切りパーティション

- 可動間仕切りパーティションのガイドレール、まぐさ、座板は特記無き限りはSUS304の折り曲げ加工とする。

8.ガラス工事

- ガラスの使用区分、厚さ等は建具表の他に、外部は立面図、内部は展開図を参照する。
- ガラススクリーン、エントランス・風除室廻りにはガラス面に衝突防止マークを450mm間隔にとりつける。
- ガラス押えのシーリングはシリコン系シーリングとし、目地幅は6mm以上とする。
- その他の場合は監督員と協議を行う。
- セッティングブロック類はシリコン系シーリングに対し変色を生じないものとする。
- 網入りガラスの小口鉄線切断部分はエポキシ系塗料、プチルテープまたは無酢酸系シリコン等で防錆処置をする。
- 合わせガラス、網入りガラスを除くガラス面は、特記なき限りすべて飛散防止フィルム貼りとする。

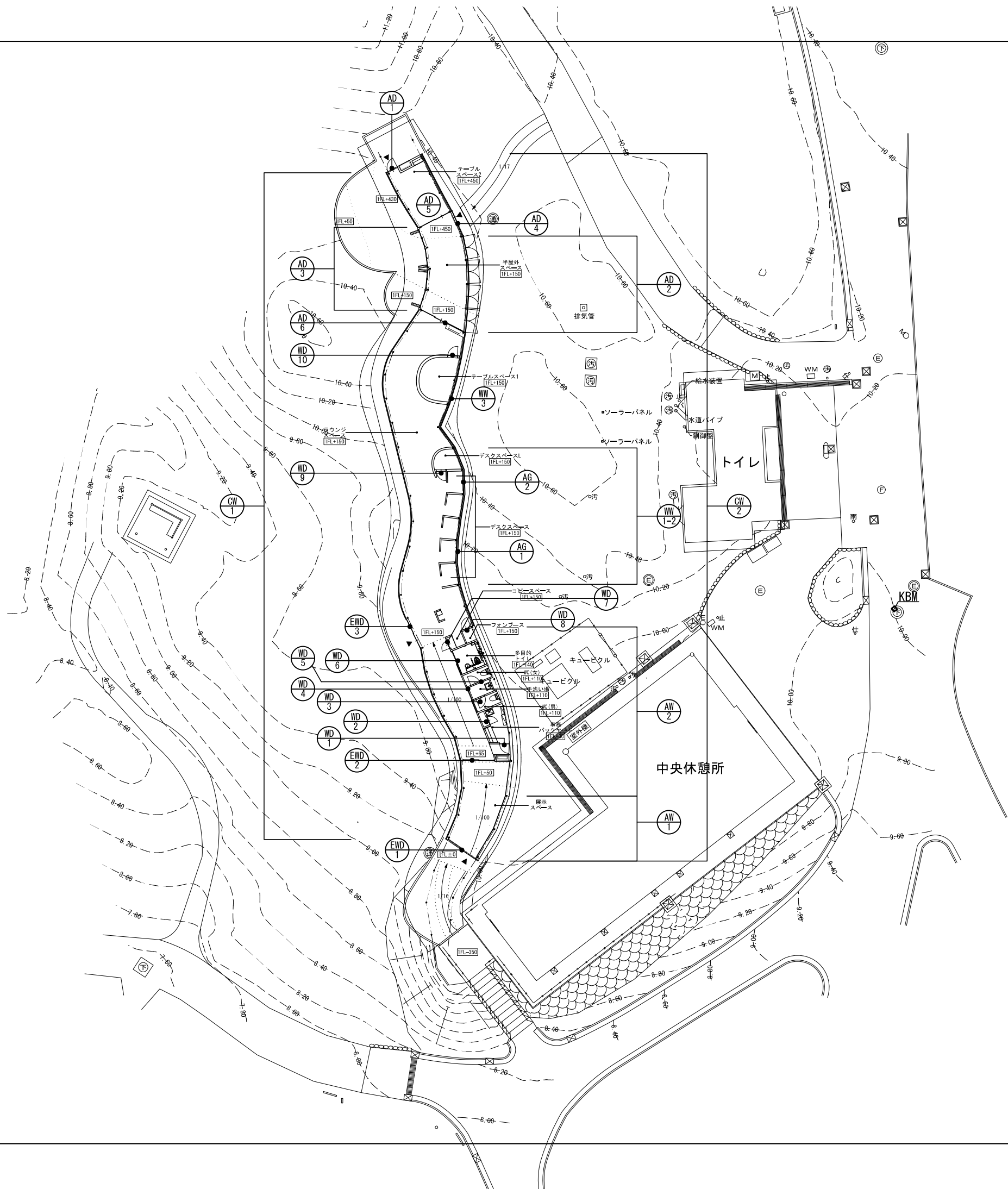
9.ガラリ

- 外部に面するガラリには雨水受けカバー(材質：サッシと同材)及び防鳥網(ステンレス15mm目)を設ける。
- ガラリの有効開口率は特記がない場合、給気用35%、排気用40%とする。
- 外部に面するガラリでダクトと接続する場合は、ダクト接続用フランジを取付ける。
- 扉内部に取付けるガラリ羽根形状はBタイプとし、木製扉の場合はDタイプとし、扉と同材仕上とする。
- 防火戸に設置する場合は、熱感ヒューズ式ダンパーを取付ける。

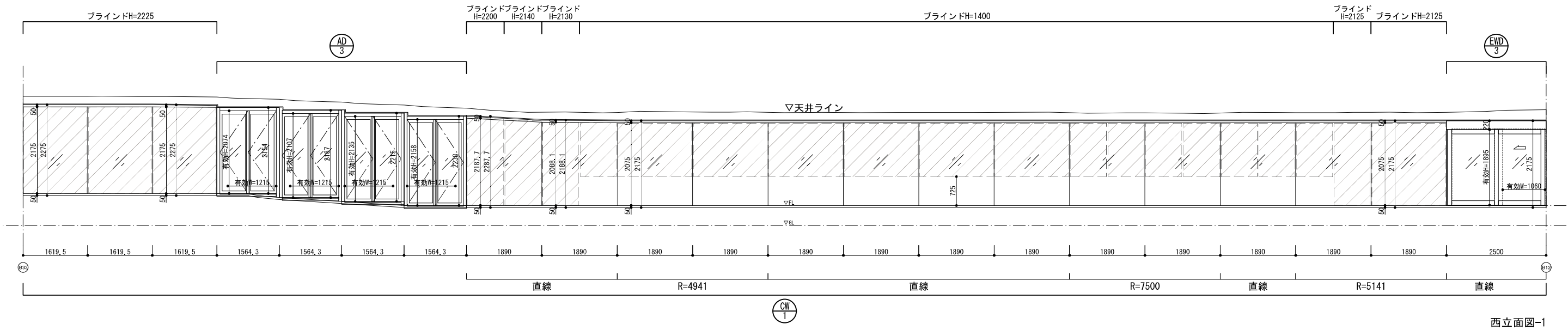
- レバーハンドル、握玉の高さは、特記なき場合FL+1100mmとする。
- また、バツセッドは64mm(レバーハンドル)または76mm(握玉)とする。
- 引き手、押板の中心の高さは、特記なき場合FL+1100mmとする。
- 排煙窓レバーの高さはFL+1500mm以下とし、特記なき場合+1200mmとする。
- 建具金物は特記なき限りSUS製とする。
- 両開き扉には順位調整器をつけること。
- 特記なき限り、建具の種類と金物は下表のものを用いる。

開閉形式	支持金物	締り金物	備考
片開き	外部:ステンレス旗丁番 150mm3枚 内部:PH、DC、CDC CDC仕様SD:ロートンのクレンジ #900同等品 またはAH	レバーハンドル付箱錠	
両開き	外部:ステンレス旗丁番 150mm3枚 内部:PH、DC、CDC CDC仕様SD:ロートンのクレンジ #900同等品 またはAH	レバーハンドル付箱錠	順位調整器、フアン落とし、戸当り
引き戸	レールまたはハンガー・スライドレール 戸車またはハンガー・戸車	引き戸錠、本締錠	戸当り、引き戸クローザ

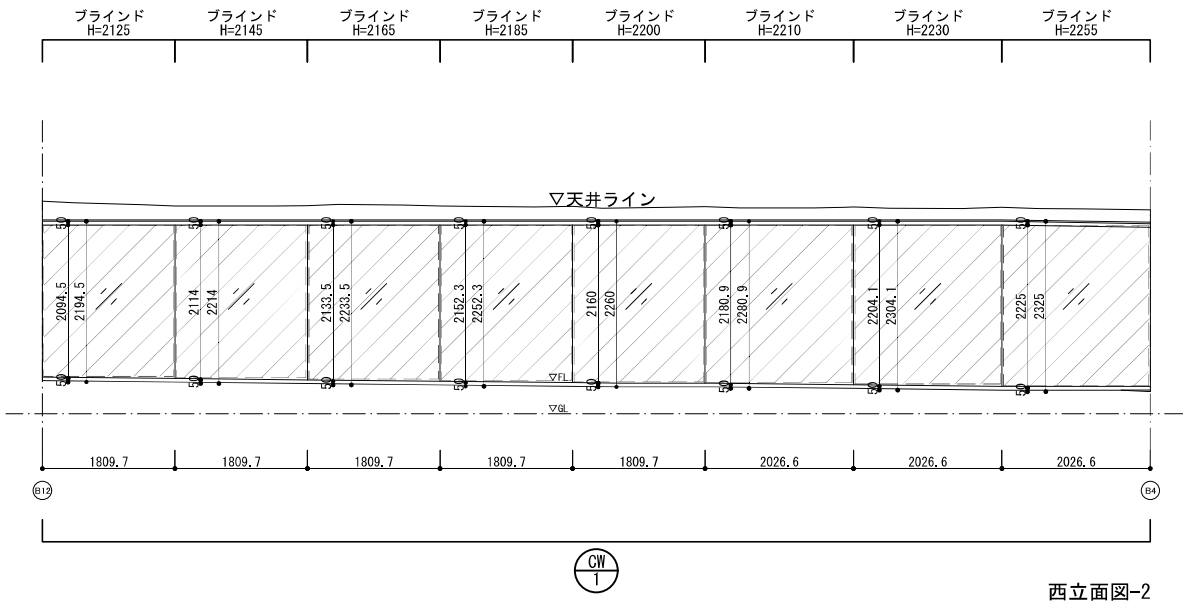
- シリンドラ錠は、



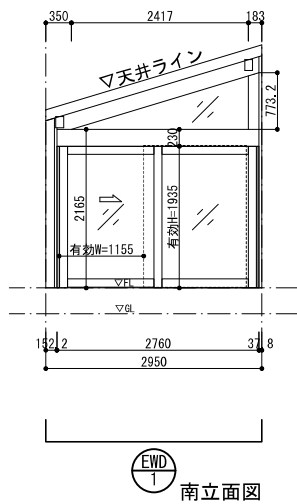
工事名称	令和4年度新宿御苑ワーキングスペース新築工事			工事年度	令和 4 年度
工事場所	東京都新宿区内藤町1-1			図面名称	建具キープラン
発注機関	環境省自然環境局新宿御苑管理事務所			縮尺	1:300 (A3)
公図名称	新宿御苑			図面番号	A-037 /
検印	管理建築士	設計	製図	設計者	名称 株式会社 高橋建設設計事務所
	大橋	大橋	大橋		資格者氏名 大橋康孝
					登録番号 一級建築士登録第343872号
					所在地 静岡県静岡市東区 西千代田町29-30



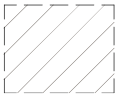
西立面図-1



西立面図-2



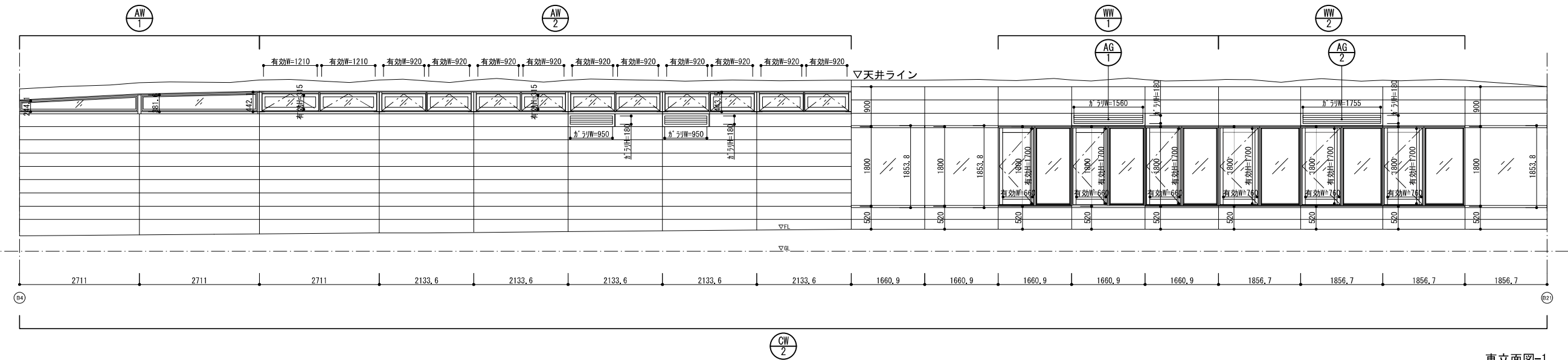
南立面図

※  ブラインド設置範囲
(横型、アルミ、スラット幅15mm)

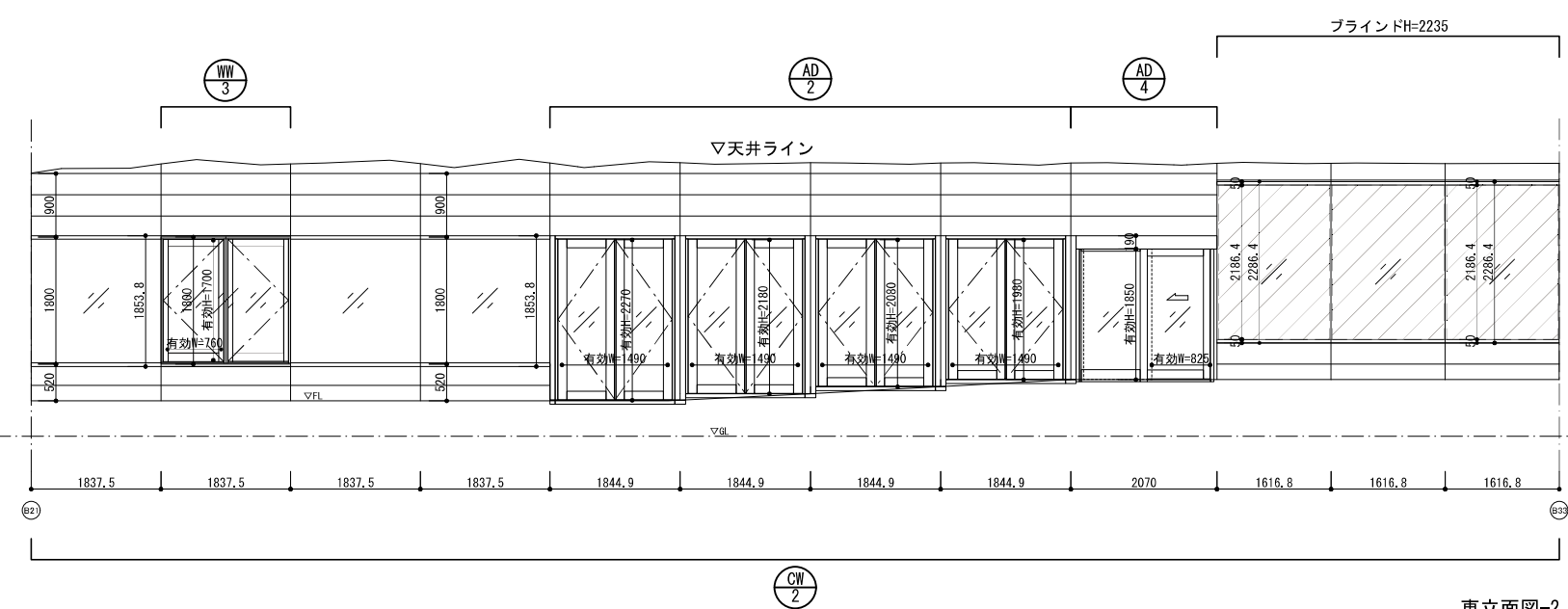
※西面についてはR部、直線以外は多角形状とする

建具	符号	形式	使用箇所	種別		枠/扉				ガラス					遮音	網戸	引き手等	錠	備考
				防火	エアタイト	見込	材質	仕上	W(有効) H(有効)	外種類	外厚	A	内厚	内種類					
CW	1	FIXカーテンウォール	外壁西面	-	-	72	A	A2	姿図参照	TP	10	12	10	TP	-	-	-	-	飛散防止フィルム貼り 上下2辺支持 デバイス同等品 (FIX部)
	2	FIXカーテンウォール	外壁東面	-	-	72	A	A2	姿図参照	FL	6	12	6	FL	-	-	-	-	飛散防止フィルム貼り 4辺支持ﾊﾞｯｸﾏｯﾁ材:St FB-22 x 50 デバイス同等品 (FIX部)

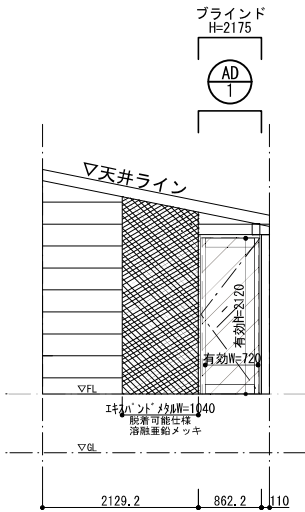
工事名称	令和4年度新宿御苑ワーキングスペース新築工事			工事年度	令和 4 年度	
工事場所	東京都新宿区内藤町1-1			図面名称	建具表1	
発注機関	環境省自然環境局新宿御苑管理事務所			縮尺	1:100 (A3)	
公園名称	新宿御苑			図面番号	A-038 /	
検印	管理建築士	設計	製図	設計者	名称	株式会社 高橋建設建築設計事務所
	大橋	大橋	大橋		資格者氏名	大橋康孝
					登録番号	一級建築士登録第343872号
					所在地	静岡県静岡市東区 西千代田町29-30



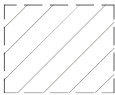
東立面図-1



東立面図-2



北立面図

※  ブラインド設置範囲
(横型、アルミ、スラット幅15mm)

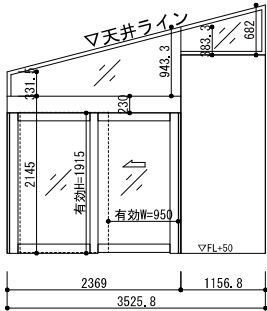
※東面については多角形状とする

建具	符号	形式	使用箇所	種別		枠/扉				ガラス					遮音	網戸	引き手等	錠	備考
				防火	エアタイト	見込	材質	仕上	W(有効) H(有効)	外種類	外厚	A	内厚	内種類					
CW	1	FIXカーテンウォール	外壁西面	-	-	72	A	A2	姿図参照	TP	10	12	10	TP	-	-	-	-	飛散防止フィルム貼り 上下2辺支持 デバイス同等品 (FIX部)
	2	FIXカーテンウォール	外壁東面	-	-	72	A	A2	姿図参照	FL	6	12	6	FL	-	-	-	-	飛散防止フィルム貼り 4辺支持ﾊﾞｯｸﾌｫﾚﾐﾝｸﾞ材:St FB-22×50 デバイス同等品 (FIX部)

工事名称	令和4年度新宿御苑ワーキングスペース新築工事			工事年度	令和 4 年度	
工事場所	東京都新宿区内藤町1-1			図面名称	建具表2	
発注機関	環境省自然環境局新宿御苑管理事務所			縮尺	1:100 (A3)	
公園名称	新宿御苑			図面番号	A-039 /	
検印	管理建築士	設計	製図	設計者	名称	株式会社 高橋建設建築設計事務所
	大橋	大橋	大橋		資格者氏名	大橋康孝
					登録番号	一級建築士登録第343872号
					所在地	静岡県静岡市東区 西千代田町29-30

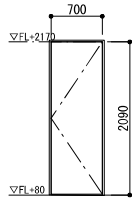
建具	符号	形式	使用箇所	種別		枠/扉				ガラス					遮音	網戸	引き手等	錠	備考
				防火	エアタイト	見込	材質	仕上	W (有効) H (有効)	外種類	外厚	A	内厚	内種類					
EWD	1	片引き自動扉+FIX窓	展示スペース南面	-	-	70	W	OP	1155 1935	FL	6	12	6	FL	-	-	-	-	標準金物一式 内外セキスイチ(無目内蔵型)
	2	片引き半自動扉+FIX窓	展示スペース北面	-	-	70	W	OP	950 1915	FL	6	12	6	FL	-	-	-	電気錠	標準金物一式
	3	片引き半自動扉	ラウンジスペース西面	-	-	70	W	OP	1060 1895	FL	6	12	6	FL	-	-	-	-	標準金物一式
WD	1	片開き戸	事務バツキヤード	-	-	36	W	OP	700 2090	-	-	-	-	-	-	-	LH DC HSH	LHL	標準金物一式
	2	片開き戸	物置	-	-	36	W	OP	600 2090	-	-	-	-	-	-	-	CH HSH	-	標準金物一式
	3	片開き戸	WC(男)	-	-	36	W	OP	700 2060	-	-	-	-	-	-	-	LH HSH	HL	標準金物一式
	4	片引き戸	手洗い場	-	-	36	W	OP	800 2060	-	-	-	-	-	-	-	OB	-	標準金物一式 上吊式引戸金物一式 (ソフトクローズ) ガラス:FL6
	5	片開き戸	WC(女)	-	-	36	W	OP	700 2060	-	-	-	-	-	-	-	LH HSH	HL	標準金物一式
	6	片引き戸	多目的トイレ	-	-	36	W	OP	800 2030	-	-	-	-	-	-	-	OB	HL	標準金物一式 上吊式引戸金物一式 (ソフトクローズ) 下部見切 SUS-FB
	7	片開き戸	ロビースペース	-	-	36	W	OP	600 730	-	-	-	-	-	-	-	-	-	スライド丁番
	8	片開き戸	フロントース	-	-	40	W	OP	740 2020	-	-	-	-	-	-	-	LH CDC HSH	-	標準金物一式 ガラス:FL6 隠し丁番
	9	片開き戸	デックススペースL	-	-	40	W	OP	710 2300	-	-	-	-	-	-	-	LH CDC HSH	-	標準金物一式 ガラス:FL6 隠し丁番
	10	片開き戸	テブールスペース1	-	-	40	W	OP	710 2275	-	-	-	-	-	-	-	LH CDC HSH	-	標準金物一式 ガラス:FL6 隠し丁番
WW	1	FIX窓+片開き戸	デックススペース	-	-	100	W	OP	660 1700	FL	6	12	6	FL	-	横引	CLH	-	標準金物一式
	2	FIX窓+片開き戸	デックススペース	-	-	100	W	OP	760 1700	FL	6	12	6	FL	-	横引	CLH	-	標準金物一式
	3	両開き戸	テブールスペース1	-	-	100	W	OP	1520 1700	FL	6	12	6	FL	-	横引	CLH	-	標準金物一式
AD	1	片開き戸	テブールスペース2	-	-	70	A	A2	720 2120	FL	6	12	6	FL	-	-	-	電気錠	標準金物一式
	2	両開き戸	半屋外スペース	-	-	70	A	A2	1490 委図参照	FL	6	12	6	FL	-	-	-	-	標準金物一式 フランス落し
	3	折れ戸	半屋外スペース	-	-	70	A	A2	1215 委図参照	FL	6	12	6	FL	-	-	-	-	あけてんで同等品(株式会社TOKO) 下部レール:250M型 2部のみ外鍵付きグレモンハンドル
	4	片引き半自動扉	半屋外スペース東面	-	-	70	A	A2	825 1850	FL	6	12	6	FL	-	-	-	-	標準金物一式
	5	片引き半自動扉+FIX窓	半屋外スペース北面	-	-	70	A	A2	1055 1997	FL	6	12	6	FL	-	-	-	電気錠	標準金物一式
	6	片引き半自動扉+FIX窓	ラウンジスペース北面	-	-	70	A	A2	930 2175	PW	6.8	12	6	FL	-	-	-	-	標準金物一式
AW	1	FIX窓	事務バツキヤード	-	-	70	A	A2	2711 委図参照	FL	6	12	6	FL	-	-	-	-	異形7&3リッ
	2	突出し排煙窓+7&3リッ	事務バツキヤード 展示室	-	-	70	A	A2	委図参照	FL	6	12	6	FL	-	-	-	-	ワンタッチオペレーター(隠蔽式) 手動開閉操作具 高さFL+1400
AG	1	7&3リッ	デックススペース上東側	-	-	70	A	A2	1560 180 委図参照	-	-	-	-	-	-	固定網戸 防虫網 SUS	-	-	開口率:50%
	2	7&3リッ	デックススペース上東側	-	-	70	A	A2	1755 180 委図参照	-	-	-	-	-	-	固定網戸 防虫網 SUS	-	-	開口率:50%

EWD
2

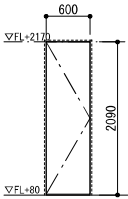


※EWD1, 3はCW姿図参照

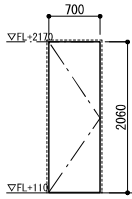
WD
1



WD
2

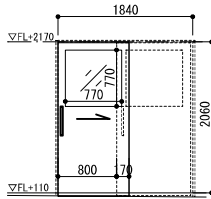


WD
3

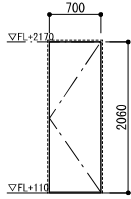


※ラウンジスペースに面するWD枠は、
原則壁内に埋込仕様とする事

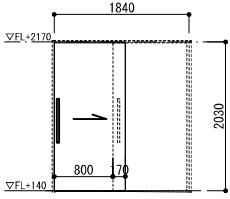
WD
4



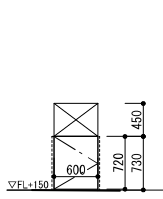
WD
5



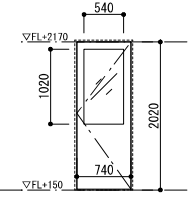
WD
6



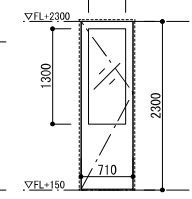
WD
7



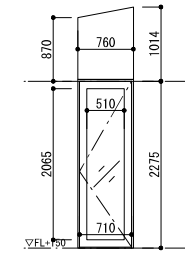
WD
8



WD
9

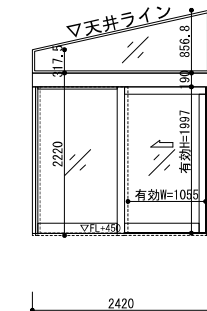


WD
10

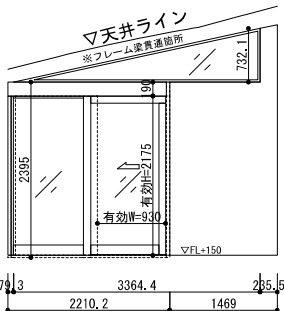


上部欄間は仕上合板パネル

AD
5



AD
6



工事名称	令和4年度新宿御苑ワーキングスペース新築工事	工事年度	令和 4 年度
工事場所	東京都新宿区内藤町1-1	図面名称	建具表3
発注機関	環境省自然環境局新宿御苑管理事務所	縮尺	1:100 (A3)
公園名称	新宿御苑	図面番号	A-040 /
検印	管理建築士	設計	製図
	大橋	大橋	大橋
設計者	名称	株式会社 高橋建設建築設計事務所	
	資格者氏名	大橋康孝	
	登録番号	一級建築士登録第343672号	
	所在地	静岡県静岡市東区 西千代田町29-30	